

# 【成年男子の部】 試合結果1

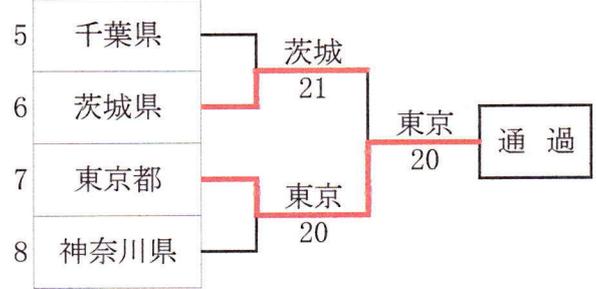
シード	都県	監督	選手		シード	都県	監督	選手	
1	埼玉	原田 正明	1	松尾 友貴	3・4	千葉	齋田 淳	1	大和田 秀俊
			2	藤井 信太				2	竹内 遥丞
5~8	山梨	小林 繁	1	矢崎 頼	5~8	茨城	宮原 康弘	1	平岡 伸雄
			2	中込 優介				2	津島 巧
5~8	栃木	阿久津 定之	1	玉腰 敬大	5~8	東京	榎本 正一	1	田中 凜
			2	河内 良容				2	小見山 僚
3・4	群馬	福井 保次郎	1	仁井田 直也	2	神奈川	黒田 隆之	1	大友 優馬
			2	須田 昌賢				2	只木 信彰

## ●8月1日(土) 《1日目》

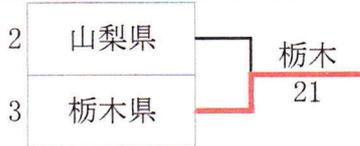
### ◆ Aブロック



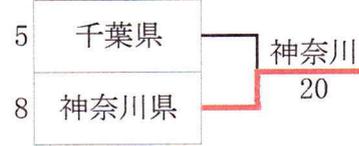
### ◆ Bブロック



### ◆ 1回戦敗者戦(4位決定戦)



### ◆ 1回戦敗者戦(4位決定戦)



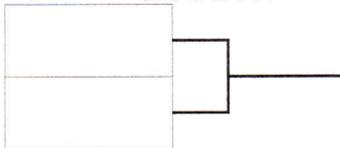
・ 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者は、ブロック2位決定

通過

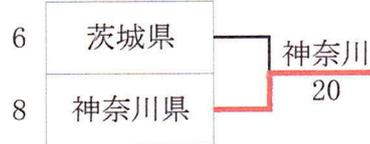
\* 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者が2回戦でも勝者(ブロック1位)となった場合は、そのブロックの反対サイドの1回戦勝者とブロック2~3位決定戦を行う(2日目)。

## ●8月2日(日) 《2日目》

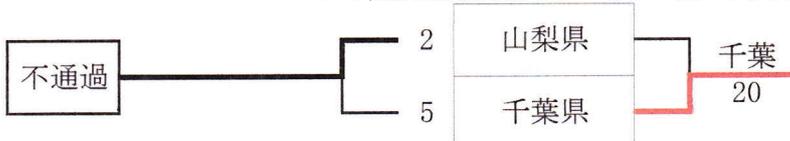
### ◆ Aブロック2~3位決定戦(\*の場合)



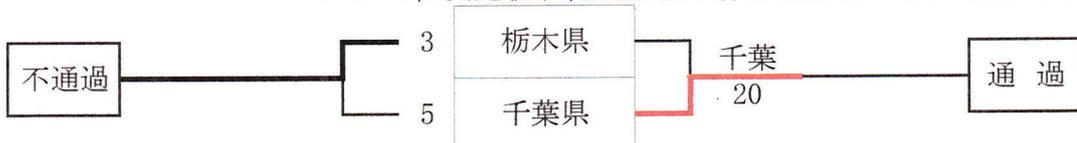
### ◆ Bブロック2~3位決定戦(\*の場合)



### ◆ 8位決定戦(A・Bブロック4位の対戦)



### ◆ 6~7位決定戦(8位決定戦の勝者と反対ブロック3位との対戦)



## 【 成年男子の部 】 試合結果2

### 成年男子ブロック1R

	埼玉県	2	対	0	山梨県		栃木県	1	対	2	群馬県
S1	松尾 友貴	8	—	3	矢崎 頼	S1	玉腰 敬大	8	—	5	仁井田 直也
S2	藤井 信太	8	—	2	中込 優介	S2	河内 良容	4	—	8	須田 昌賢
D	松尾 友貴 藤井 信太		—		矢崎 頼 中込 優介	D	玉腰 敬大 河内 良容	6	—	8	仁井田 直也 須田 昌賢
	千葉県	1	対	2	茨城県		東京都	2	対	0	神奈川県
S1	大和田 秀俊	8	—	2	平岡 伸雄	S1	田中 凜	8	—	6	大友 優馬
S2	竹内 遥丞	3	—	8	津島 巧	S2	小見山 僚	8	—	3	只木 信彰
D	大和田 秀俊 竹内 遥丞	8 (5)	—	9	平岡 伸雄 津島 巧	D	田中 凜 小見山 僚		—		大友 優馬 只木 信彰

### 成年男子ブロック2R

	埼玉県	2	対	0	群馬県		茨城県	0	対	2	東京都
S1	松尾 友貴	8	—	0	仁井田 直也	S1	平岡 伸雄	2RET	—	3	田中 凜
S2	藤井 信太	8	—	2	須田 昌賢	S2	津島 巧	3	—	8	小見山 僚
D	松尾 友貴 藤井 信太		—		仁井田 直也 須田 昌賢	D	平岡 伸雄 津島 巧		—		田中 凜 小見山 僚

### 成年男子1R敗者戦(4位決定戦)

	山梨県	1	対	2	栃木県		千葉県	0	対	2	神奈川県
S1	矢崎 頼	5	—	8	玉腰 敬大	S1	大和田 秀俊	2	—	8	大友 優馬
S2	中込 優介	8	—	5	河内 良容	S2	竹内 遥丞	6	—	8	只木 信彰
D	矢崎 頼 中込 優介	2	—	8	玉腰 敬大 河内 良容	D	大和田 秀俊 竹内 遥丞		—		大友 優馬 只木 信彰

### 成年男子ブロック2・3位決定戦

			対				茨城県	0	対	2	神奈川県
S1			—			S1	平岡 伸雄		—	W.O	大友 優馬
S2			—			S2	津島 巧		—	W.O	只木 信彰
D			—			D	平岡 伸雄 津島 巧		—		大友 優馬 只木 信彰

### 成年男子8位決定戦

	山梨県	0	対	2	千葉県
S1	矢崎 頼	1	—	8	大和田 秀俊
S2	中込 優介	1	—	8	竹内 遥丞
D	矢崎 頼 中込 優介		—		大和田 秀俊 竹内 遥丞

### 成年男子6・7位決定戦

	栃木県	0	対	2	千葉県
S1	玉腰 敬大	4	—	8	大和田 秀俊
S2	河内 良容	3	—	8	竹内 遥丞
D	玉腰 敬大 河内 良容		—		大和田 秀俊 竹内 遥丞

記録責任者 名倉安代

【 成年男子の部 】 試合結果3

順位	都県名	結果
1	埼玉県	通過
1	東京都	通過
3	群馬県	通過
3	神奈川県	通過
5	茨城県	通過
6	千葉県	通過
7	栃木県	不通過
8	山梨県	不通過

記録責任者 名倉安代

栃木県テニス協会  
 総監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成27年7月31日(金)～8月2日(日)
- ・会場 埼玉県大宮第二公園第一テニスコート
- ・主催 公益財団法人日本体育協会・埼玉県・関東テニス協会  
さいたま市
- ・主管 埼玉県・埼玉県体育協会・埼玉県テニス協会  
さいたま市・さいたま市体育協会
- ・後援 文部科学省

2. 試合方法

- ・ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：渡邊千鶴 選手：玉腰敬大 河内良容  
 トレーナー：吉村健児

4. 試合結果

■成年男子 1回戦 対 群馬県：8月1日(土)

	栃木県	1 - ②	群馬県
S 1	玉腰敬大	○ 8 - 5 ●	仁井田直也
s 2	河内良容	● 4 - 8 ○	須田昌賢
D	玉腰敬大 河内良容	● 6 - 8 ○	仁井田直也 須田昌賢

■成年男子 1回戦敗者戦 対 山梨県：8月1日(土)

	栃木県	② - 1	山梨県
S 1	玉腰敬大	○ 8 - 5 ●	矢崎 頼
S 2	河内良容	● 5 - 8 ○	中込優介
D	玉腰敬大 河内良容	○ 8 - 2 ●	矢崎 頼 中込優介

■成年男子 6位決定戦 対 千葉県：8月2日(日)

	栃木県	0-②	千葉県
S 1	玉腰敬大	●4-8○	大和田秀俊
S 2	河内良容	●3-8○	竹内遥丞
D	玉腰敬大 河内良容	打切り	大和田秀俊 竹内遥丞

5. 所感

今年も成年女子の関東枠は8枠で関東予選はなく、成年男子のみ予選が行われた。関東は8都県中6枠と昨年より1枠厳しい予選となった。また、会場はさいたま市ということで、特に暑さも厳しい大会でした。

本県の代表選手は、2人とも初出場、シングルス1の玉腰敬大選手は、愛知県出身、今年足工大附属高校を卒業し上武大学に入学したばかりのニューフェイスです。一方、シングルス2の河内良容選手は、元JOP70位代にランクインしていたベテランの選手です。2人とも初出場でどれだけにどれだけ戦えるのか楽しみな大会でもあった。

初戦の対戦相手は、今回第4シードの群馬県、2人とも大学生。試合は2面展開で行われ、シングルス1の玉腰選手は、接戦をものにして8-5で競り勝った。シングルス2の河内選手も接戦でしたが、3-4で熱中症にかかり一時中断したが、試合を再開、1ゲーム取ったが本来の調子が戻らず、4-8と負け1勝1敗とダブルス勝負となった。

ダブルスも中盤まで接戦で先にブレイクし6-4とリードし、これで行けると思ったが、サーブをキープできず、流れが相手に傾き、そのまま最後まで流れを引き戻すことができず6-8で初戦を落とした。何としても勝ちたかった初戦だったが、これで、もう負けられなくなった。

初戦敗退者の相手は山梨県、昨年と同じメンバーだが、1と2が入れ替わっていた。シングルス1の玉腰選手は、再び接戦となったが、初戦と同じ8-5で勝利した。シングルス2の河内選手は万全な体調ではなかったこともあり、5-8で接戦を落とし、再びダブルス勝負となった。前半、接戦でしたが、2人の息も合い、中盤以降は一方的に攻め続け8-2と危なげなく勝つことができた。

初日は暑さの厳しい中、参加チームの中で一番多い4試合をこなした2人の選手は疲労が溜まっていた。そんな疲れた2人の選手を夜遅くまで吉村トレーナーにケアしていただきとても助かった。

大会2日目、試合結果次第では試合をやらずに本国体に出場が決まる場面だったが、Bブロックの4位はまさかの千葉県、今回の第3シード、初戦、茨城県に敗れ、敗者戦も第2シードの神奈川県が東京都に敗れる波乱があり、シードどうしが、最下位決定戦を行い、千葉県が敗れ、山梨県が勝てば、栃木は試合をやらずに本国体出場だったが、山梨県がシングルス2本落とし、千葉県に勝たなければ本国体に出場することができなくなった。

シングルス1の玉腰選手は、最後まで諦めず粘りを見せたが、やはり相手の選手は上手く4-8で負けた。シングルス2の河内選手も最後まで攻め続け、勝負に出たボールが入らず3-8で負けてしまった。

今年は残念ながら本国体出場は出来ませんでしたが、チームを支えてくれた吉村トレーナーをはじめ、県スポーツ振興課、県体育協会の職員の方々、応援に来て下さったたくさんの方々には大変お世話になり心から感謝しております。また、今回お世話になりました埼玉県テニス協会の方々には、暑い中、3日間にわたり運営をしていただきありがとうございます。

来年は、是非、本国体出場を果たしたいと思っておりますので、今後ともご支援ご鞭撻をよろしく願いいたします。